



コミュニティ・スクールだより

みはらしの丘

令和8年5月26日

No. R8-3

山形市立みはらしの丘小学校

校長 馬場 賢

<http://www.miharashi-e.ymgt.ed.jp>

家庭配布用・地域回覧用

学校教育目標 夢と感動 勇気と感謝 みはらしの丘の未来を創る 生きる力にあふれる子どもの育成

命を守る行動を



4月からこれまで、命を守る大事な行動について考える機会がたくさんありました。避難訓練では、「お（さない）・は（しらない）・し（やべらない）・も（どらな



い）。青パト出発式では、「いか（ない）・の（らない）・お（おきな声でさけぶ）・す（ぐ逃げる）・し（らせる）」。5年生の救急救命講習会では、消防署から講師にきていただき、心臓マッサージを体験したりAEDの使い方を教えてもらったりしました。そして、その中で、他者の命を守るために自分ができることについて考えることができました。1年生の交通安全教室では、警察の方から安全確認の大切さを繰り返し教えてもらいました。3年生の自転車講習会では、安全な自転車の乗り方について丁寧に教えてもらいました。子どもたちは、その場面でも真剣に話を聞いて取り組んでいましたし、よく理解することができていたと思います。しかし、実生活の中ではどうでしょうか。ここで学習したことがしっかり意識できているのか不安に感じる場面がよくあります。命は一つしかありません。命を守る行動を繰り返し、その意味も合わせて子どもと確かめていくことが大切です。ご家庭でも常にお子さんと話していただければと思います。

また、今年は、クマ出没もすでに相次いでいます。5月に真夏日も記録し、熱中症が心配される日も増えてきそうです。子ども自身が「自分の命は自分で守る」「他者の命も大切にする」ことを意識しながらも、子どもだけではできないことを大人が支えていくことが大切です。クマ出没時の対応、熱中症の対応など、引き続きご協力をお願いいたします。

【公園の使い方について】

みはらしの丘小学校の子どもたちが公園で遊んでいる姿をよく見かけます。男女問わず、学年問わず大勢で遊ぶ様子は、とてもよい光景です。こうした遊びの中で、社会性を身に付けていくことこそ健全な姿であるように思います。

しかし、残念なことに公園という公共の場にふさわしくない行動をしている状況があり、地域の方々等からご連絡をいただくことが増えてきています。公園は公共の場ですから、自分だけが気持ちのよい行動ではいけません。「自分も、まわりの人たちも心地よい使い方」でなければいけません。以下のことについて、学校で子どもたちに話をしています。ご家庭でもお子さんと確認いただければと思います。

○ エアガン等、公園を利用している人を傷つけてしまう可能性のある遊びはしない。

○ ゴミはしっかり持ち帰る。

※さらによい行動としては、来た時よりもきれいにする。

○ 公園にある遊具や東屋等に落書きをしない。

▲残念なことに「死ぬ」など命を大事にしない言葉、人の名前や誹謗中傷もありました。

人権侵害は、決して許されることではありません。

公園には、タバコのポイ捨てなどもありました。子どもは、大人の背中から学びます。こんなにたくさんのすばらしい公園がある地域は他にはありません。地域の公園を大切に使う文化をみはらしの丘に定着させていくことができればと願っています。

学校運営協議会

4月22日（水）に第1回学校運営協議会が開かれました。委員の皆さんに授業を参観いただいた後、今年度の学校経営の方針について説明いたしました。さらに、委員の皆さんで、今年度の活動について話していただきました。今年度もみはらしの丘小学校の子どもたちのために、どうぞよろしく願いいたします。

「かかわり愛」で笑顔あふれる“みはらし”の子ども ~明るいあいさつ、思いやり、優しさ、地域、自然~

~ 令和8年度 学校運営協議会委員の皆さん ~

〈敬称略〉

会 長 高橋 正好 地域学校協働活動推進員	副会長 菊地 清美 地区振興協議会教育後援部会長
委 員 平田 裕 学識経験者	委 員 犬飼 晃 南山形コミュニティセンター所長
委 員 加藤 清 みはらしの丘自治副会長	委 員 齋藤ゆう子 みはらしの丘民生委員児童委員代表
委 員 星川 晴恵 みはらしの丘児童クラブ代表	委 員 並河 英紀 みはらしの丘小学校PTA会長